

教師、親、生徒、学生、誰でも気軽に参加でき、明日の教育や子育てに役立つ研究集会

2017年

## 日本生活教育連盟第69回夏季全国研究集会(沖縄集会)

主催 日本生活教育連盟 日本生活教育連盟第69回夏季全国研究集会実行委員会  
後援 沖縄県教育委員会 沖縄タイムス社 琉球新報社

**研究主題** 世代をつなぎ 他者をつなぎ 希望を紡ぐ

日時 **2017年8月5日(土)～8月7日(月)**

研究会場 沖縄国際大学 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾2-6-1 TEL: 098-892-1111(代表)

**開会全体会** 8月5日(土) 13:00～15:45

### ☆シンポジウム テーマ 「平和教育・主権者教育をつなぎ未来を拓く」

シンポジスト 中山きく(沖縄戦語り部 白梅同窓会会長 元青春を語る会代表)  
里井洋一(琉球大学教授 沖縄県歴史教育者協議会)  
迫田 実(当山小学校非常勤講師 夏季全国研究集会実行委員会副委員長)  
磯間奏子(与那原小学校教諭 夏季全国研究集会実行委員会事務局)  
コーディネーター 行田稔彦(元和光小学校・和光鶴川小学校校長 日生連委員長 和光大学教授)

### ☆独唱構成一人芝居 「もうひとつのせんそう」「おしえてせんせい」

会沢芽美 (文化と平和・交流の宿「うたごえペンションまーみなー」主宰)

ようこそ沖縄へ

夏季全国研究集会実行委員会委員長 三村和則(沖縄国際大学)

このたび日本生活教育連盟の69回目の大会を沖縄でお引き受けすることになりました。全国からの教師・研究者・保護者・学生・地域の方々みなさまの参加を熱烈に歓迎いたします。

日本生活教育連盟は、わが国に数ある民間教育研究サークルの中で最も長い歴史を持つ団体です。戦前からの児童中心主義教育の遺産に学びながら、創造的な実践と研究を積み重ねてきました。地域の実現と子どもの生活実態を踏まえ、「人間にふさわしい」とでも言うべき、子ども達の自由で個性的な学習と発達をめざしている団体です。

民間教育研究サークルの特徴は、自主的な財政と運営、自らの関心にあったテーマでの学習、実践家と研究者と保護者が構成員という点にあります。そのため民間教育研究サークルが創り出す理論と実践にこそ真理・真実があるものと理解しております。

日本生活教育連盟の近年の大会テーマは、「仲間をつなぎ、いのち輝く学び」「仲間とともに学び、希望を紡ぐ」「世代をつなぎ、他者をつなぎ、希望を紡ぐ」などとなっています。そこには、子どもの生活実感の希薄さや教師も含めた人間関係における生きづらさがある一方、子どもも教師も仲間や同僚や保護者、研究者、地域の人々をつなぎ学ぶことで、未来に希望を見いだすことができているという現実が、反映されているように思います。

「教育は未来への先行投資である」という言葉を耳にする時代になりました。それは、今日の教育政策の基軸となりつつあります。しかし教育は、経済社会の活力を維持・向上させるための単なる手段ではありません。教育は一人ひとりがなりたい自分になるためのものでもなければいけません。大会では、こうした教育の現実を視野に入れながら、日頃の実践や悩みを持ち寄り、学び合い、語り合っていきたいと思っております。

今沖縄サークルは、「ヤング日生連」と呼ばれる世代の先生方がサークルの中心メンバーに育ってきています。「ヤング日生連」の先生方の熱気を活力源に、できるだけ準備をしてみなさまをお迎えしたいと思っております。沖縄でお会いできますことを心より楽しみにしております。

豊かな子育てと教育の実践を紹介し交流する月刊誌「生活教育」をおすすめします

(毎月20日発行 1年間定期購読 郵送料込み9600円)

# 日程表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
<b>4日</b> (金)												拡大常任委員会 分科会代表世話人会 (ホテル内)	
<b>5日</b> (土)	受付 9:00~	生活教育講座	昼食	開会全体会			移動	分科会①	移動	会員総会 (大学内)			
<b>6日</b> (日)	受付	分科会②		昼食	分科会③		移動	文化活動 実技講座	移動	レセプション (大学内)			
<b>7日</b> (月)	受付	分科会④	移動	閉会 全体会	オプション企画 辺野古バスツアー								

## 生活教育講座 8月5日(土) 10:00 ~ 12:00

- |                  |       |                    |
|------------------|-------|--------------------|
| ①「生活教育」とは何か      | 行田稔彦  | (和光大学/日生連委員長)      |
| ②学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業 | 渡辺恵津子 | (大東文化大学/日生連拡大常任委員) |
| ③子どもと深めるいのちの授業   | 金森俊朗  | (北陸学院大学/日生連拡大常任委員) |
| ④子どもが見えてくる実践の記録  | 竹沢 清  | (中部学院大学/日生連愛知)     |
| ⑤辺野古・高江基地問題を考える  | 迫田 実  | (日生連沖縄)            |
|                  | 喜屋武幸  | (沖縄県小中一貫校教諭)       |
| ⑥海兵隊は沖縄で何をしているのか | 北上田源  | (沖縄国際大学・琉球大学)      |
| ⑦沖縄から考える環境・平和・自治 | 桜井国俊  | (元沖縄大学学長)          |

## 文化活動実技講座 8月6日(日) 16:00 ~ 18:00

- |   |        |                    |
|---|--------|--------------------|
| ①パネルシアターの世界を楽しもう<br>~沖縄の伝統産業を素材にしたパネルシアターづくり~ | 田村真広   | (日本社会事業大学/日生連研究部長) |
|   | 田辺基子   | (神奈川工科大学/日生連研究部)   |
| ②子どもが喜ぶ手作り遊び工作                                | 鬼頭正和   | (愛知県立大学/日生連愛知)     |
| ③草木染めを楽しもう(定員20名)                             | 砂川初子   | (嘉手納草木染サークル代表)     |
| ④三線で沖縄を体験しよう                                  | 宮城健太   | (沖縄小学校教諭/日生連沖縄)    |
|   | 宮城調俊   | (野村流音楽協会教師)        |
| ⑤エイサーを踊ろう                                     | 迫田 実   | (日生連沖縄)            |
| ⑥海の工作を楽しもう                                    | 喜舎場美也子 | (沖縄小学校教諭/日生連沖縄)    |
| ⑦子ども生活と読書活動                                   | 島尻千賀子  | (沖縄小学校教諭/日生連沖縄)    |
| ⑧しまぞうりアート                                     | 田仲浩美   | (沖縄県造形教育連盟役員)      |

## 開会全体会 8月7日(月) 11:30 ~ 12:30

### 講演 「沖縄の基地問題と学力問題について」

三村 和則 (夏季全国研究集会実行委員会委員長/沖縄国際大学)

## 昼休み学内平和ガイド 8月5日(土)・6日(日) 12:15 ~ 12:55

米軍ヘリコプター墜落現場(本館前ポケットパーク)と米軍普天間基地を一望できる5号館屋上の2箇所、  
沖国大平和学習支援サークル(スマイライフ)によるガイドを行います。

## オプション企画 8月7日(月) 13:00 ~ 19:30

【コース】 沖縄国際大学発 13:00 → キャンプシュワブゲート前 → 辺野古の浜 → 大浦湾(瀬嵩)  
→ 那覇空港 → 県庁前広場着 19:00 → 沖縄国際大学着 19:30

【募集】 45名(最少催行30名) 【問合せ・申込・企画実施】 (株) 富士国際旅行社

\*旅行代金など詳細については、後日、ツアーパンフレットにてご案内します。

# 分科会

8月5日(土) ① 16:00~18:00

8月6日(日) ② 9:30~12:00 / ③ 13:00~15:30

8月7日(月) ④ 9:30~11:20

分科会		分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人 (太字は代表)
1	ことばと教育	日本語を楽しむ深め認識・内面・表現を豊かにし関係を深めていく教育 ①ことば・国語教育をめぐる各地の状況と各自の問題意識 ②日本語を楽しむ深め認識・内面・表現を豊かにし関係を深めていく国語科の授業実践と年間カリキュラム ③読書、見つけたものなどの発表、劇表現、学級話し合いなど、ことばを通して子どもの認識・内面・表現が育ち関係も深まる学校・園・地域・家庭における様々な取り組み ④子どもの表現と心を読む・子どもの求める国語教育を考える	<b>鎌倉 博</b> 金田一清子 桑原英代 岡村保子 小川貴弘
2	算数数学	子どもと拓く算数・数学 ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化 ④生活と算数の結びつきと教育課程 ⑤学びを作り出す指導法と教具 ⑥確かな学びと少人数指導のあり方	<b>関 忠和</b> 入沢雅代 松村綾佳 渡辺恵津子 行田稔彦 中村 潤
3	社会科	子どもと共に社会を学び、希望を育む ①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと ②討論・交流の場の設定と共通課題・個人課題の誕生 ③実践で生まれた学びと生きる喜び・希望 ④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性	<b>北川 茂</b> 金森俊朗 外山英昭 松村一成 加藤博之 宮丸賢一 杉見朝香 中曽根力
4	生活科と総合学習 平和学習	学び合いや協同学習、アクティブラーニングを組み換えるような実践と視点を、生活科・総合学習から提案する。 ①子ども達も教師や大人たちも意欲を沸かせ、課題を探究し合い、ともに創り出せる活動を ②子ども達の生活と地域・社会の問題(基地・戦争と平和、国際、政治・経済・環境・健康など)が連続する点をとらえ、ひとまとまりの活動を組む ③生活・活動を広げ深めるためにも、教科、科学、文化やその研究を存分に組み合わせる ④全体を通じてどんな学力・能力が養われるかを、私達の言葉とエピソードで表現する(批判的な考え方、活かす力、地域を創る協働力など)	<b>金馬 国晴</b> 村越含博 迫田 実 和田 仁
5	小学校の生活指導 (人間関係づくり)	親と子と教師が「安心・自信・自由」でつながれる学級・学校 ①「不登校・登校拒否・いじめ・暴力」等に見られる子どもたちの疎外状況を克服する指導 ②「荒れる子」「キレル子」の内面と背景を大切にしたい生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動 ③父母・地域の人々・職場の同僚との共同による学級・学校づくり ④子どもと教師・父母が本音を出し合い、遊び心でつながる学級・学校づくり	<b>中里明雄</b> 河野修三 伊藤邦夫 宮城アケミ 阿部 賢 阪本 智 宮城健太
6	乳幼児期の教育	乳幼児期から小学校低学年の子どもの発達と実践は～幼・保・小・大そして親もつながってつくる分科会～ ①幼年期の発達課題と子どもが育つ環境・活動は～実践から学ぶ子ども理解 ②実践の検討～幼・保・小・大連携の現状と親とかかわって ③幼稚園要領、保育指針、学習指導要領の改訂の学習交流 ④現代の課題と子ども～貧困(経済的、社会的、人間関係)虐待、待機児童問題など	<b>中河原良子</b> 望月 彰 山田隆幸 吉田真弓 富岡美織 加藤英子

7	中学・高校 大学教育	<b>中高大学生の発達と学力の課題は何か？</b> ① 中学・高校・大学の子どもの育ちの現状と背景について交流しよう。その上で思春期の育ちにおける課題を、学力面・生活面、一人ひとりのつながりあいに焦点を合わせながら明らかにしよう。 ② 子どもたち自身の自治と参加による学校、学年、学級づくりの手だてを明らかにしよう ③ 教職員の共通理解を進める中で、一人ひとりの教職員が力を発揮し、協力・援助しあう学校づくりの手だてを明らかにしよう	<b>浦島 清一</b> 木村勝保 木村久男 宮崎博史 五十嵐俊二 辻本真也
8	障がい児 教育	<b>生活と学習の主体者を育てる障がい児教育</b> ① 子どもをどうとらえるか（「問題行動」と内面理解） ② 教育内容をどうつくるのか（基礎的日常生活活動／科学や文化の学習／文化集団活動） ③ 学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか	<b>井関 美季</b> 竹田一博 内藤良一 竹沢清 加藤登美子 川口慎司
9	能力・発達 と評価	<b>子どもたちの学びをとらえる教師のまなざし</b> ① 子どもの発達や評価をめぐる新たな課題の共有 ② 子どもたちの学びに迫り得た実践報告の検討 ③ 子どもへのまなざしを支える教師の専門性 ④ 生活教育実践史における学びのとらえやみとり	<b>山本 仁史</b> 横田文夫 谷保裕子 横山尤子
10	教育と 子育て	<b>つながり合って育つ</b> ～子ども、教師、保護者・地域の支え合い～ ① 「子どもたちのしんどさ」に寄り添い、支える ② 「子どもたちの生きづらさ」の捉え方と支援 ③ 学校・家庭・地域がつながり合って支え合う ④ いじめや体罰から子どもたちを守り、育てる取り組みとは	<b>山岡 雅博</b> 春日井敏之 北村和美 堀江理砂 荒木寿友 長堂登志子 相馬契太 安原陽平

#### ☆レポート参加について

分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連研究部に7月9日(日)までにご連絡下さい。  
 連絡先 田村 FAX: 042-496-3152 E-mail [tamura@jcs.w.ac.jp](mailto:tamura@jcs.w.ac.jp)

#### ☆レポート郵送について

レポートを郵送される方は、「日生連大会資料」と明記し、下記までお送り下さい。  
 送付先 沖縄国際大学総合文化学部 安原陽平  
 〒901-2701 沖縄県宜野湾市宜野湾 2-6-1 Tel. 098-892-1111(代表)  
 ※ 郵送された場合の問い合わせは、下記 E-mail にてお願いします。  
 E-mail [y.yasuhara@okiu.ac.jp](mailto:y.yasuhara@okiu.ac.jp)

#### ☆文化活動実技講座について

- ・ <草木染めを楽しもう> ⇒ 定員 20 名となっております。
- ・ <エイサーを踊ろう> ⇒ 動きやすい服装でご参加下さい。
- ・ 必要経費をいただくものがあります。当日徴収します。ご承知下さい。

#### ☆大会への問い合わせ

- \* 研究集会企画 日生連事務局長 和田 仁 042-736-0036 (和光鶴川小学校)
- \* 大会参加・その他 現地事務局長 宮城アケミ [ake.28513@outlook.jp](mailto:ake.28513@outlook.jp)
- \* 日生連公式 HP <http://nisseiren.jp>